

平成 20 年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)
 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会
2. 課題番号または共同利用コード 2008-A-11
3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称
 和文: 古地震
 英文: Paleoseismology
4. 研究代表者所属・氏名 佐藤 比呂志
 (地震研究所担当教員名) 都司 嘉宣
5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日数	旅費支給
都司 嘉宣	東京大学地震研究所・准教授	津波堆積物調査	5/7-8	2	○
島崎 邦彦	東京大学地震研究所・教授	津波堆積物調査/地表地震断層調査	5/6-8, 7/5, 2/1	5	○
佐竹 健治	東京大学地震研究所・教授	津波堆積物調査	5/6-8, 1/31-2/1	5	○
今井 健太郎	東京大学地震研究所・研究員	津波堆積物調査	5/6-8	3	○
行谷 佑一	産業総合研究所・研究員	津波堆積物調査	5/6-8	3	○
千葉 崇	東京大学大学院新領域創成科学研究科・大学院生	津波堆積物調査	5/6-8, 1/31-2/1	5	○
熊原 康博	群馬大学教育学部・准教授	地表地震断層調査	7/11-7/13	3	○
鈴木 康弘	名古屋大学大学院環境学研究科・教授	地表地震断層調査	6/30-7/1, 7/4-7, 7/11-15	11	○
渡辺 満久	東洋大学社会学部・教授	地表地震断層調査	7/4-7, 7/11-12	6	○

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード: 2008年岩手宮城内陸地震, 地表地震断層, 津波堆積物, 三浦半島, 巨大地震, 地震サイクル

平成20年6月14日M7.2岩手・宮城内陸地震の発生後、急速写真判読を行って岩手県一関市巖美町に長さ3-4kmにわたって断続的に活断層変位地形と見られる地形を見いだした。そのうち明瞭な地震断層を伴った、はの木立の2カ所でトレンチ掘削調査を実施し、約5千年前以降複数の活動があったことを明らかにした。

三浦半島小網代湾の干潟でハンディジオスライサーによって深さ約3mまでの地層を採取し、三層のイベント堆積物を発見した。粒度分析や珪藻分析から、これらは津波堆積物であると考えられ、年代測定の結果、1293年(正応六年または永仁元年)鎌倉に大被害を与えた地震が、元禄より前の関東地震である可能性が高いと結論した。このことから関東地震の地震サイクルは繰り返し間隔が200年程度の場合と400年程度の場合があると思われる。このばらつきの一因として、1293年関東地震が国府津-松田断層の活動を伴う巨大地震であった可能性がある。

7. 研究実績報告（公表された成果のリスト*¹または2000～3000字の報告書）

(*¹論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無、ポイント数、電子ファイル添付のこと)

1. 島崎邦彦, 津波堆積物の年代測定: 三浦半島小網代湾干潟の例, 第3回年代測定と日本文化シンポジウム予稿集, 福島県文化財センター, 14-15, 2008, 記載なし, 3ポイント.
2. 島崎邦彦, 震源断層より短い活断層の長期評価, 日本活断層学会 2008年度秋季学術大会予稿集, 19-21, 2008, 記載なし, 2ポイント.
3. 島崎邦彦, 地震と活断層: その関係を捉え直す, 科学, 79, 160-166, 2008, 記載なし, 3ポイント.
4. 島崎邦彦, 岩手・宮城内陸地震はノーマークの地震, イミダス編集部編「世界と日本の地勢を読み解く時事力」, 集英社, 2008, 記載なし, 3ポイント.
5. 島崎邦彦, 活断層で発生する大地震の長期評価: 発生頻度推定の課題, 活断層研究, 28, 41-51, 2008, 記載なし, 3ポイント.
4. 島崎邦彦・金幸隆・千葉崇・石辺岳男・都司嘉宣・岡村眞・松岡裕美・行谷佑一・佐竹健治・今井健太郎・泊次郎, 三浦半島小網代湾干潟の津波堆積物, Programme and Abstracts, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and the 2008 Fall meeting of Seismological Society of Japan, 43, 2008, 記載なし, 2ポイント.
5. 鈴木康弘・渡辺満久・中田高・小岩直人・杉戸信彦・熊原康博・廣内大助・澤祥・中村優太・丸島直史・島崎邦彦, 2008年岩手・宮城内陸地震に関わる活断層とその意義: 一関市厳美町付近の調査速報, 活断層研究, 29, 25-34, 2008, 記載なし, 3ポイント.

以上 計 19 ポイント